



レーザー治療

Qスイッチ・ルビーレーザーによる
メラニン色素性病変（しみ、茶あざ）の治療



一般財団法人 **住友病院** 形成外科

レーザーってなあに？

生まれつきの茶あざは、メラニン色素を多量に含む、あざの細胞が多くなっているものと、皮膚のメラニン色素の含有量が正常よりも多くなっているものとがあります。

また加齢と共に増えてくるいわゆるシミも、メラニン色素を多く含む細胞からなる皮膚腫瘍と、メラニン色素の産生が増加しているものとがあります。

皮膚に対するダメージを最小限に抑え、黒色～褐色の部分を選択的にこのメラニン色素を破壊するように開発されたのが、ルビーレーザーをはじめとするレーザーです。



処置前



処置後

レーザー治療による長所

- 1 皮膚に対するダメージが少ない。
- 2 深い病変まで治療できる。
- 3 治療時間が短い。
- 4 治療後の出血がほとんどない。
- 5 治療後の痛みが少ない。



注意点

- ・レーザー治療後、照射部位が乾くまでに4～5日かかります。
この間は、消毒処置、ガーゼを貼る必要があります。
- ・レーザー治療後の皮膚はやや弱くなっています。
治療後3ヶ月間は、日焼けをすると色素沈着が残ります。
- ・レーザー照射部位は、日焼けを避け、紫外線遮光剤の入った化粧クリームを使用して頂くことになります。
- ・また、ケロイド体質、炎症による色素沈着の起きやすい方には、レーザー治療を行いにくい場合があります。

費用について

- ・基本的に、保険外診療（自費診療）になります。
- ・詳細は、外来受診時におたずね下さい。

